

＜先週の説教から＞

『詩編⑧— 命の泉はあなたにあり』

武田真治 牧師

詩編 36:1~13 ローマの手紙 3:9~20

この詩編36編は、あの「主は羊飼ひ、わたしには何も欠けるところはない」と始まる詩編23編に勝るとも劣らないと評価されているすてきな詩編です。まずその冒頭の2節に「罪が語りかけるのが、わたしの心に聞こえる。」とあります。原文では（ネーウム）という言葉が最初です。この言葉は普通（神託、託宣）と訳され、旧約聖書ではもっぱら「主の託宣（＝ネーウム ヤハウエ）」や「神が言われた」と用いられる言葉ですが、ここでは（ネーウム ペシャ）となっています。ペシャとは「罪」のことです。それが「わたしの心の奥に聞こえる。」と。即ち、神様に代わって罪があたかも神託のように自分に語り掛けて来るというのです。ここには“罪”が単なる条文やお題目ではなく、むしろ人に迫って来る“生き物”のように言われています（＝エバに語り掛けたヘビのように）。ここでの「わたし」は、神様を信じる信仰者です、それでも、罪から強力に誘われる事があると告白しているのです。この様なことは私たちも心に感じる“現実”ではないでしょうか。そして、このリアルな“罪”感覚は実は信仰者にとっても必要なものでもあると言い得ます。ただし、この罪の声に自分を乗じさせてしまうと「自分の目に自分を偽っているから、自分の悪を認めることも、それを憎むこともできない」人間になってしまうと。故に、問題はその罪の語り掛けに対して、どう対処していくかでしょう。

この後に、この詩人が為していることは“神様の大きさを仰ぎ見ている”のです。即ち「主よ、あなたの慈しみは天に、あなたの真実は大空に満ちている」と。そしてその神様の“慈しみ（＝ヘセド、愛）”に拠り頼もうとするのです。「あなたの翼の陰に身を寄せ」「恵みに潤い」「渴きを癒す」と。この主の愛の中に自分がすっぽりと包まれ、守られているではないかと、そのことをもう一度、確認して“主に委（ゆだ）ねて”生きて行こうと思ひ直すことが救いへの道だと！

それがこの後の「命の泉はあなたにあり、あなたの光に、わたしたちは光を見る」（10節）という言葉に集約されている“信仰”だと言い得ます。ユンゲル・モルトマンという神学者はこの10節を『私たちは聖霊を通して、キリストの中に啓示された神を見ることができる（ということを見せてくれている）。ここには他のどのような神学的大著よりも三位一体について要約してくれている、それはあのカール・バルトの8000ページにも及び「教会教義学」よりも。』と絶賛しています。私たちににとっては、この礼拝を通して、聖霊を与えられ、主を見上げることで「光」の中を歩めるように変えられて行くのではないのでしょうか。「あなた（＝神）の家に滴る恵みに潤い、あなたの流れに渴きを癒す。」のです！

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 9月6日（水）20:00
II. 9月7日（木）10:30

聖書：ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題：敬老祝福を覚えて
担当者：（水）奈良 （木）岩井
祈りに覚える人：三箇さん 鹿野さん

【教勢報告】

主日礼拝 男20 女62 計82
祈祷会 I. 男6 女2 計8 II. 男2 女9 計11
日曜学校 幼稚科6 小中科14 計20

【次週主日礼拝】 9月10日（日）

聖書：ミカ書 2:1~5
ルカによる福音書 13:6~9

説教：「ミカ③ — これはまさに災いの時」
武田真治 牧師

讃美歌：54(1)、32、182(1~3)、452(1と2)、483(1~4)、83(1)

【次週当番表】

司式：茨木長老 奏楽：村上 礼拝：齋藤長老
献金：高橋 武田 受付：鈴木 橋本
会堂準備：飯島 岡本 金刺 中村
森本

看板：岩佐 週報：金刺 お花：茨木

【次週集会予定】

礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後：・敬老祝福 ・壮年/婦人/ダビデ 各会
・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

2023年 9月 3日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>